

インプラントの「ポジショニング」に迫ったはじめての書！

補綴臨床 別冊 | PRACTICE IN PROSTHODONTICS
EXTRA ISSUE

インプラントのポジショニング —ねらいどおりの補綴治療のために—

細川隆司・武田孝之／編



A4判変型／180頁
オールカラー
定価6,300円
(本体6,000円＋税5%)

●インプラント治療のキーワードは、外科主導、補綴主導、ミニマルインターベンションと、時代とともに変化してきました。そして、CTの普及により安全で的確なインプラントの植立が可能となってきた現在、改めて考えなければならないのは、あらかじめプランニングした補綴設計をねらいどおりに実現するための、「インプラントのポジショニング」です。

●本別冊ではインプラントを安全・的確に植立し、長期的に安定した補綴治療を行うためのエッセンスを解説しています。解剖・全身的なリスクなど補綴法として選択する前に考慮すべき点に始まり、埋入位置、角度、深度などの「ポジショニング」、さらに外科手術時・上部構造製作時の留意点まで、治療ステップごとに押さえておくべきポイントを整理しました。さらに、メンテナンスの流れと実際、骨吸収時のリカバリーなど、補綴終了後の注意点も網羅しています。

●経験豊富なインプラントエキスパートを執筆陣に迎え、多数の症例を提示、ポジショニングに関する実践的なヒントが満載された臨床ガイドブックです。

C O N T E N T S

第1章 補綴法として選択する前に考慮すべき重要点

総説 補綴から見たインプラント

1. インプラント治療を受容できる要件・条件、リスク
2. 支持部となる骨を再考する
3. 造成骨と既存骨の違い

第2章 インプラントのポジショニング

総説 ポジショニングの重要性

1. 診断用ワックスアップの重要性と埋入ポジション
2. CTの有用性と三次元的治療計画
3. 審美領域におけるポジショニング
4. 臼歯部におけるポジショニング
5. 犬歯を含む連続歯欠損
6. 上顎前歯を含む多数歯欠損
7. 術者のポジショニングが手術に与える影響

第3章 インプラント埋入時の注意点

総説 インプラント手術時の注意点

1. 手術時のリスクファクター
2. 即時負荷（即時荷重）の注意点

第4章 上部構造の作製

総説 上部構造作製時の考え方

1. 印象採得、模型作製
2. 咬合採得
3. アバットメント
4. 上部構造の材質
5. 上部構造の形態
6. 試適、セットの注意点

第5章 術後の注意点

総説 メンテナンスの流れと注意点

1. メンテナンスの実際
2. インプラント周囲骨の骨吸収

医歯薬出版株式会社

〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10 TEL.03-5395-7630 FAX.03-5395-7633 <http://www.ishiyaku.co.jp/>